

ナースコールシステム

品名 デジタルペア線式ナースコールシステム

■概要

本システムは、病室・患者からの呼出に対応するボード・卓上タイプの親機やシステム全体をコントロールする制御装置を中心に、病院内のコミュニケーションを円滑にはかるためのナースコールインターホンシステムです。また、病院内の用途・条件にあわせて病室アダプター・病室用子機などの周辺機器を接続したり、コードレス電話システムなどの接続によりシステムの拡張も可能です。

■特長 (I)

(1) システム全体をコントロールする制御装置

制御装置でシステム全体をコントロールするため、用途・条件に合わせて親機等を組み合わせることができ、システムの拡張が容易です。また、病室アダプターなど接続機器からの配線は、すべて制御装置に集線する方式であり、配線本数が省線化(2P)しており、また、速結端子の採用により従来の省線式システムに比べ施工性が向上しています。

(2) 設置場所に合わせた3種類の親機

患者(室内用子機)からの呼出に应答する親機には、壁に設置するボードタイプの親機、カウンターなどにおいて使用する卓上タイプの親機があります。それぞれ通話ユニットと、選局ユニットで構成されるため、将来、床数が増加したときに、容易に増設できます。また、卓上タイプの通話ユニットは、単独での使用も可能です。親機は軽量で、各親機から制御装置への配線は省線式(5P)ですので、施工性が向上しました。

(3) 親機を組合わせ5台まで利用可能

用途・条件に合わせ親機は、制御装置1台につき最大5台まで組合わせて使用できます。(ボード形親機、卓上形親機の場合は合計3台までです。)

(4) 2P配線で最大3通話路

制御装置～病室アダプター間は、従来の省線式(3P)よりも1P少ない2Pで配線できます。また、この配線で最大3通話路を確保できますので、用途・条件に合わせて様々な仕様に対応することができます。(同一の病室アダプター内では、1通話路のみです。)

(5) 映像信号にも対応

映像伝送アダプター(将来対応)を追加すると、映像の伝送が可能となり、別途配線を必要としません。

(6) 増加する個室に対応した病室アダプター

プライバシー保護により、年々増加する個室に対応するため、制御装置1台に対し、病室アダプターが60台まで接続できます。増設制御装置を接続した場合は、最大120台まで接続可能です。

概要 / 特長 (I)

品番	_____
品名	デジタルペア線式ナースコール

作成年月	2003.01	図面整理番号	SNJ-44 SD-0
------	---------	--------	-------------

■特長(Ⅱ)

(7) システム拡張

コードレス電話システム、コンピューターシステムなどのオプション機器を接続し、病院内コミュニケーションの効率化が図れます。

- コードレス電話システムを接続可能(当社製「J-3000、J-2000」)

コードレス電話システムを接続すると、患者からの呼出を親機以外に、コードレス電話機でも対応できます。この時、最大で3人の患者からの呼出に対して同時に対応(3通話路)することが可能です。また、チームナーシングにも対応しておりますので、より効率的な看護が可能です。

コードレス電話機の表示部には呼出患者の部屋番号と、ベット番号を表示します。また、トイレ、浴室などではアルファベットと数字による表示が可能です(J-3000のみ)。さらに、コードレス電話機から各患者への呼出も可能です。

- コンピューターシステムを接続可能

パソコン連動通話機にはコンピューターを接続するための端子を設けていますので、コンピューターを接続し患者情報管理などを行うことができます。

- オプション入力に対応

病室アダプターにはオプション入力端子を設けていますので、将来の拡張時にも容易に対応できます。

(8) 保守性の向上

制御装置内にプログラムボードを内蔵しており、現場での設定・変更が容易にできます。また、各親機でも設定・変更の一部が可能です。

■機能一覧

ボードタイプ・卓上タイプ親機	着信・応答	受話器で応答・通話
		プレトークで応答・通話
		自動応答優先順位設定
		選局応答
		自動終話
	呼出・通話	受話器で個別呼出
		プレトークで個別呼出
		予鈴音送出(自動、手動選択可能)
		放送
		複数の患者を除外して放送
	その他	複数の患者に放送
		個別ランプによる状態表示
		ベッド番号表示
		オプション入力の状態表示
		脱落断線警報
CPU障害表示		
親機間の通話可能		
機能の設定・変更		

オプション	コードレス電話システム接続時	患者からの呼出に対し、着信・応答可能 着信時にベッド番号などを表示
	コンピューター接続時	患者に対し呼出・通話可能 患者情報等をCRTに表示

特長(Ⅱ) / 機能一覧	
品番	_____
品名	デジタルペア線式ナースコール

■機器構成 (I)

● ナースコールシステム

品 名	品 番	接続数	備 考			
中央制御装置	VH-M101	1				
増設制御装置	VH-M102	1	病室アダプター61台以上使用時に必要			
1LCカード	VH-M981	1	病室アダプター60台以内の時に必要			
2LCカード	VH-M982	1	病室アダプター61台以上使用時に必要			
PBXカード	VH-M986	1	コードレス連動時に必要			
パソコン連動通話機	VH-M481	最大5台	VH-M482 + M202	合計 3台以内	合計 5台以内	
			VH-M483 + M203			
			VH-M481または M482単体	最大5台		
ナースコール通話機	VH-M482	最大5台				
ボード形通話ユニット	VH-M483	最大3台				
ボード形選局ユニット (20局単位)	VH-M203	通話ユニット 1台に対して 最大6台	ボード形通話ユニットに接続し、 ボード形親機を構成する			
卓上形選局ユニット (20局単位)	VH-M202	通話ユニット 1台に対して 最大6台	ナースコール通話機に接続し、 卓上形親機を構成する			
副親機	VH-M280D	最大2台	各親機に接続			
ハンド子機	VH-R560	必要数				
	VH-R560C					
ユニット子機	VH-C551					呼出握りボタン付
	VH-C551K					呼出握りボタンが必要
	VH-C552					呼出握りボタンが必要 緊急呼出スイッチ付
呼出握りボタンプレート	VH-C886					ハンド子機接続用
	VH-C886K					ハンド子機接続用 緊急呼出スイッチ付
	VH-C5118					ハンド子機接続用 ハンド子機引掛フック付

機器構成 (I)

品 番	_____
品 名	デジタルペア線式ナースコール

作成年月	2003.01	図面整理 番 号	SNJ-44	SD-0
------	---------	-------------	--------	------

■ 機器構成 (Ⅱ)

● ナースコールシステム

品名	品番	接続数	備考
病室アダプター	VH-R680/1	1分岐 最大20台 制御装置	増設制御装置接続時は、最大120台
	VH-R680/2		
	VH-R680/3		
	VH-R680/4		
	VH-R680/6		
病室アダプタートイレ表示付	VH-R680T/1	1台で 最大60台	
	VH-R680T/2		
	VH-R680T/3		
	VH-R680T/4		
	VH-R680T/6		
トイレアダプター	VH-R681		
角形代表廊下灯	VH-C807D	必要数	VH-C807/24とは互換性なし
丸形代表廊下灯	VH-C880D		VH-C880/24とは互換性なし
天井付角形子機	VH-555		
天井付丸形子機	VH-557		
天井マイク	VH-R578		
壁埋込マイク	VH-C579		呼出握りボタンが必要
ハンドマイク	VH-571		呼出握りボタンが必要
呼出握りボタン	VH-804M		メタコン式、コード長2m
	VH-5776X5		メタコン式、コード長1.6m
マイクプレート	VH-C871M		
息吹式呼出ボタン	VH-5776X3		
機能障害者用押しボタン	VH-5667X		
浴室用天井吊下げ引きスイッチ	VH-5411X		

機器構成 (Ⅱ)

品番	_____
品名	デジタルペア線式ナースコール

作成年月	2003.01	図面整理 番 号	SNJ-44 SD-0
------	---------	-------------	-------------

■親機の構成(必要接続数)

(1) ボードタイプの親機

局数	ボード形通話ユニット(VH-M483)	ボード形選局ユニット(VH-M203)
20局	1	1
40局	1	2
60局	1	3
80局	1	4
100局	1	5
120局	1	6

(2) 卓上タイプの親機

局数	ナースコール通話機(VH-M482)	卓上形選局ユニット(VH-M202)
20局	1	1
40局	1	2
60局	1	3
80局	1	4
100局	1	5
120局	1	6

(3) 制御装置

病室アダプターの台数	制御装置(VH-M101)	増設制御装置(VH-M102)	1LCカード(VH-M981)	2LCカード(VH-M982)
1~60個	1	×	1	×
61~120個	1	1	×	1

親機の構成

品番	_____
品名	デジタルペア線式ナースコール

作成年月	2003.01	図面整理番号	SNJ-44 SD-0
------	---------	--------	-------------

■配線距離について

機 器 間		線 材	ループ抵抗	配線距離
中央制御装置	親機	ツイストペア線シールド付 CPEV-S-5P (ϕ 0.9mm)	5 Ω 以下	80m以内
	増設制御装置	ツイストペア線シールド付 CPEV-S-4P (ϕ 0.9mm)	6 Ω 以下	100m以内
	病室アダプター・ トイレアダプター	ツイストペア線シールド付 CPEV-S-2P (ϕ 0.9mm)	12 Ω 以下	200m以内
	コードレス制御器 (EXA-Super,Ace, パナホンDSⅡ)	ツイストペア線シールド付 CPEV-4P (ϕ 0.65mm)	36 Ω 以下	300m以内
ツイストペア線シールド付 CPEV-4P (ϕ 0.9mm)		600m以内		
親機	副親機	単線3線 (ϕ 0.9mm)	6 Ω 以下	80m以内
病室アダプター・ トイレアダプター	子機	単線2線 (ϕ 0.9mm)	9 Ω 以下	150m以内

■配線上の注意

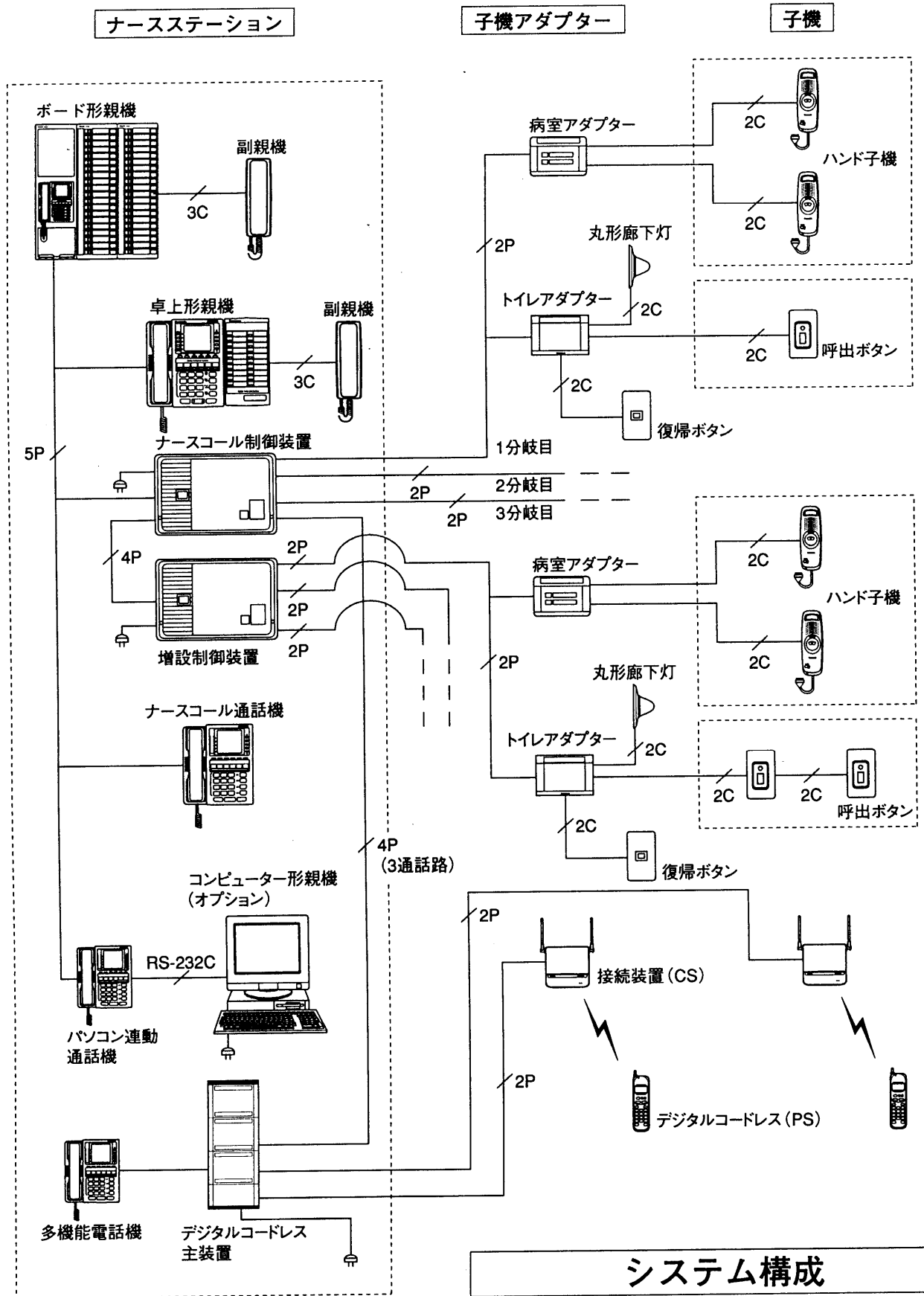
- (1) 配線工事には下記の資格が必要です。
 - 電気配線工事……………「電気工事士」
 - 電話工事……………「工事担任者資格」
- (2) AC100V電源を入れたまま、工事配線しないでください。
- (3) AC100Vの端子に、AC100V以外は接続しないでください。
- (4) 誤配線、ショート等がないことを確認の後、電源を入れてください。
- (5) 中央制御装置から各種機器(ボート形、ナースコール通話機等)までの配線距離、配線線材は、上記の表の通りにしてください。(誤作動等防止のため)
- (6) AC電源、コンピューター、テレックスなどの配線と制御装置からの各種配線は、30cm以上離してください。同一配管内で配線すると、機器へ傷害を与えます。
- (7) 床上配線でふまれる恐れのある場合は、ワイアプロテクター等により保護してください。
※じゅうたん下の配線は避けてください。
- (8) AC100V電源をコンピューター、テレックス等のOA機器と同一コンセントで使用しないでください。
- (9) 中央制御装置/増設制御装置のアースは、必ず、D種(100 Ω 以下)接地をしてください。
(通話中のノイズ防止のため) ※コンピューター、テレックス等のOA機器と同一アースをしないでください。
- (10) 中央制御装置/増設制御装置の前面、右左、上面50cm四方を塞がないでください。また、天井の中など見えない所には絶対に取り付かないでください。
(保守点検、プログラムボードによる機能設定変更、放熱を妨げないため)

配線距離について / 配線上の注意

品 番	_____
品 名	デジタルペア線式ナースコール

作成年月	2003.01	図面整理 番 号	SNJ-44	SD-0
------	---------	-------------	--------	------

■システム構成



システム構成	
品番	_____
品名	デジタルペア線式ナースコール

作成年月	2003.01	図面整理番号	SNJ-44 SD-0
------	---------	--------	-------------